

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【404】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 児童健全育成総合相談事業				
予算区分	款	03	民生費	所属	子ども家庭課
	項	02	児童福祉費		
	目	01	児童福祉総務費	連絡先	0594-24-1298
	細目	019	児童健全育成総合相談事業費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	児童及びその保護者	公民連携の前進	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ● ある ○ ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	○子ども総合相談センターにて、児童およびその保護者の様々な相談に応じる。 ○児童虐待通告に対して、児童相談所等関係機関と連携をとりながら迅速かつ適切に対応する。 ○児童虐待に対して、関係機関がより綿密に連携がとれるよう要保護児童及びDV対策地域協議会を効果的に運営する。 ○児童虐待防止、市内のすべての児童の健全育成のため、種々の事業を実施する。	理由	様々な支援に結び付けるためには、医療機関やNPO法人などと更なる連携が必要である。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	市内の全ての児童が健やかに成長する。		

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初
対象指標	18歳未満の児童数	人	26,205	25,941	25,863	25,863
活動指標	相談開設日数	日	246	246	246	246
成果指標	相談・面接件数	件	目標値 3,500 実績値 1,159	4,500 1,412	1,500 1,200	1,500
		目標値 実績値				
投入コスト	事業費計		8,778	3,609	5,806	10,263
	財源内訳	国支出金	827	289	1,278	1,238
		県支出金	4	192	188	95
		地方債				0
		その他				0
		一般財源	7,947	3,128	4,340	8,930
	所要人員 (正職員)	人工	1.90	1.90	3.90	
所要人員 (嘱託再任用)	人工	5.20	5.20	2.50		
人件費合計	千円	30,867	31,681	35,162		

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

相談内容も様々な複合的な要因が重なり合うことから、行政と民間団体、専門家と地域住民が連携し、様々な支援が総合的に繋がるような取り組みを行っていくことが必要であると考えている。